

時間とともに拡大する被害に対応したサイバーセキュリティのあり方

従来型セキュリティの限界と 多様化するサイバー攻撃への備え

2018年4月24日(火曜日)

全国町村会館(永田町)2階ホールで開催



IoTやFintech、ロボティクスなど、サイバー空間を前提とする様々な技術やサービスがあらゆる産業領域において利用されるようになる一方で、サイバー攻撃は、実空間(フィジカル)とサイバー空間の密着な関係性、サプライチェーンにおけるリスクの増大、国家の関与が疑われる事案も含め、急速に深刻化・巧妙化しています。特に世界から注目されるオリンピックのようなイベントにおいては、その目的も、大会の妨害だけでなく、社会的な混乱やプロパガンダ、資金の獲得など多岐にわたり、企業単体で個人情報漏洩だけに備えるような従来の防御方法では限界があります。

こうした背景から、内閣官房サイバーセキュリティセンター(NISC)では、情報通信(電気通信、放送、ケーブルテレビ)、金融(銀行等、生命保険、損害保険、証券)、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油の計18セクター合計2020人が参加する世界トップの訓練を実施するなど対策を強化していますが、NISCの分野横断的演習検討会座長、サイバーセキュリティ戦略本部重要インフラ専門調査会会長、NISC訓練に参加する金融機関の担当者から、これまでの取り組みや成果についての私見を述べてもらうとともに、時間経過とともに拡大する被害をいかに防ぐのか、中部圏で始まっている新たな取り組みを紹介。さらに、重要インフラにおける一事業者としてサイバーセキュリティ強化を試みている民間企業から取り組みを発表していただきます。

【開催概要】

- 日時 : 2018年4月24日(火曜日)午後
- 会場 : 全国町村会館 2階ホール(永田町)
- 主催 : 危機管理の専門メディア「リスク対策.com」
- 定員 : 150人前後
- 参加費: 無料(事前登録制)
- 資料 : 講演資料は希望者に有料販売(税込5,000円)

【企画講演】

- パネルディスカッション
時間とともに拡大する被害に対応したサイバーセキュリティのあり方
パネリスト: ●大林 厚臣 氏 慶應義塾大学教授 NISC分野横断的演習検討会 座長
●渡辺 研司 氏 名古屋工業大学教授
NISCサイバーセキュリティ戦略本部重要インフラ専門調査会 会長
●佐柳 恭威 氏 パークレイズ証券株式会社 ヴァイスプレジデント
- 企業事例 新たなサイバーセキュリティの取組 中部電力株式会社 情報システム部
- 製品・サービス紹介



メニュー	料金(税別)	内容
プラチナスponsor	2,000,000円	①当日の講演枠提供 時間45分 ②来場者リード(事前登録者含む)100~150リード前後想定 ②来場者へのパンフレット配布 ③会場内でのテーブル展示 ④リスク対策.comメールマガジン テキスト広告 (WEBニュース/ヘッダ枠テキスト広告 配信1回) ⑤リスク対策.com WEBバナー 1か月間掲載(要ご相談)
ゴールドスponsor	500,000円	①当日の講演枠提供 時間15分 ②来場者へのパンフレット配布 ③会場内でのテーブル展示 ※来場者リードは別途提供可能(要ご相談)

※チラシ配布・展示のみのプロモーションメニューもございます。詳細はお問合せ下さい

●講演タイトル、講演内容、登壇者情報のご提供について

お申込み後、貴社の講演タイトル、講演概要紹介文、登壇者情報、講演者の顔写真データのご提供をお願いいたします。

- ・講演タイトル/最大20字×2行
- ・登壇者情報/会社名、所属部署名、役職、お名前
- ・登壇者顔写真データ/1MB程度のJPEGデータ
- ・データ送付先/新建新聞社 危機管理メディア事業部 セミナー担当 e-mail:riskinfo@shinkenpress.co.jp

●有償提供の講演資料冊子への貴社講演資料掲載のご協力について

本セミナーの聴講者のうち、希望者のみに資料を有償でご提供させていただきます。印刷・製本した冊子にまとめご提供させていただきます。貴社の講演資料につきましても本冊子への掲載にご協力をいただきたくお願い申し上げます。提供資料に掲載できないシートを除いた印刷用データで結構ですので、何卒ご協力をお願い致します。

- ・講演資料データの提出締切/4月10日(火曜日)
- ・データ送付先/新建新聞社 危機管理メディア事業部
リスク対策.com セミナー事務局 e-mail:riskinfo@shinkenpress.co.jp

●聴講者へのパンフレットおよび貴社発表資料の配布について

聴講者へのパンフレットの配布または貴社プレゼン資料の配布も可能です。ご希望の場合はお申し付けください。なお、配布資料が複数種類になる場合、封筒またはクリアファイルなど1セットにまとめてご提供いただきますようお願いいたします。送付先および部数などにつきましては下記をご参照ください。 ・部数/150セット

- ・送付先/ 新建新聞社 危機管理メディア事業部
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-27 剛堂会館ビル5F TEL03-3556-5525



【お問い合わせ】

リスク対策.comセミナー開催事務局 株式会社新建新聞社 住生活メディア事業部
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-27 明治薬科大学剛堂会館ビル5階
TEL:03-3556-5525 email: riskinfo@shinkenpress.co.jp

2017年8月2日 サイバーセキュリティ対策セミナー

高度化するランサムウェアから企業をどう守る! 攻撃動向や企業事例から防御策を検証

「サイバー攻撃で事業を止めない 企業の事例からランサムウェアを検証」

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 技術統括 脅威情報調査室
プリンシパルセキュリティリサーチャー 辻 伸弘氏

「攻撃・技術動向から考える企業のサイバーセキュリティ」

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)
基本戦略グループ 上席サイバーセキュリティ分析官 仲間 力氏

「ランサムウェアの身代金を支払ったときの企業の法的問題点」

フランテック法律事務所 代表弁護士 金井高志氏
(LINE株式会社監査役、武蔵野大学特任教授、慶應義塾大学法科大学院講師)

＜協賛企業＞ダークトレース・ジャパン株式会社、アライドテレシス株式会社

◆事前登録者数:126人(当日参加者84人)



2017年1月31日 サイバー攻撃対策セミナー

世界的に流行している攻撃への対策 最低限必要な3ステップを解説

「サイバー攻撃の最新動向」

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 辻 伸弘氏

「リオ五輪におけるサイバーセキュリティとこれから日本企業に求められることとは」

ニュートン・コンサルティング株式会社 内海 良氏

「企業が備えるべき対策とは」

経済産業省商務情報政策局 土屋 博英氏

「サイバー攻撃の手法と脅威」

IPA 技術本部セキュリティセンター 伊東 宏明氏

＜協賛企業＞ マクニカグループ(マクニカネットワークス株式会社)、NECソリューションイノベータ株式会社

◆事前登録者数:211人(当日参加者128人)



2016年4月8日 IT-BCPセミナー

サイバー攻撃から自然災害までIT資産をいかに守る

「高度なセキュリティ対策を無効化するサイバー攻撃の被害抑制策」

サイバーディフェンス研究所 上級分析官 名和 利男氏

「現在の脅威の状況とマイクロソフトのセキュリティに対する取り組み セキュリティはITから経営課題へ」

日本マイクロソフト株式会社 チーフ・テクノロジー・オフィサー 榊原 彰氏

「サイバー攻撃最悪のシナリオ」

東京電機大学教授 佐々木 良一氏

「企業のBCPにおける自然災害とサイバーリスク」

名古屋工業大学大学院 教授 渡辺 研司氏

「このリスクになぜ対応するのか 勝ち続けるための守りを考える」

ヤフーリスクマネジメント室 プリンシパル 高元 伸氏

＜協賛企業＞株式会社ピーエスシー、ニュートン・コンサルティング株式会社

◆事前登録者数:316人(抽選制/当日参加者205人)

